



## 第22回常任理事会

**日時** 平成21年2月10日(火) 18:00~20:14  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・藤原・深澤・西里・直江・橋本・前川各常任理事、高木・中村各監事  
(事務局：島影事務局長ほか12名)

### 協議事項

#### 第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(深澤常任理事)

1月21日の審査委員会で指定「可」とされた再審1名の申請者を指定医師とすることと決定。

#### 第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡辺常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座35件、道医認定生涯教育講座37件、合計72件を承認することと決定。

### 報告事項

#### 1. 平成20年度北海道小児救急地域医師研修会について(目黒常任理事)

北海道からの委託事業として平成17年度より実施している本研修会を、北海道小児科医会の協力のもと、道内8地域で開催した。研修会の受講者は、延べ502名であり、受講した医師には北海道知事、北海道医師会長、北海道小児科医会長の三者連名で修了証を交付する。

#### 2. 道内急病センター(診療所)連絡会[1月24日(土)]について(目黒常任理事)

道内の各急病センターから運営状況等について報告があり、その後、運営上の諸問題や課題等について協議した。

#### 3. 救急医療研修会[1月25日(日)]について

(目黒常任理事)

愛知医科大学病院高度救命救急センター・野口宏教授を講師に迎え「救急医療の充実に向けて—医療と消防の連携強化—」をテーマに講演いただいた。

なお、テレビ会議システムを利用し道内8会場に中継を行い、医師、消防関係者等、合計176名が出席した。

#### 4. 救急医療対策部会全体会議[1月25日(日)]について(目黒常任理事)

例年開催している北海道小児救急地域医師研修事業、ICLS研修会等について小職より説明後、札幌医大の浅井康文教授から、昨年7月に開催された2008北海道洞爺湖サミットの救急医療体制について報告いただいた。その後の協議では「救急医療体制の現状と課題」について、あらかじめ指名した3医師会の部会員より発言いただき、各地域で抱えている問題点等の意見交換を行った。

#### 5. 厚生労働科学研究難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班研究成果発表会「一般臨床医がおこなう炎症性腸疾患の初期診療と標準治療」[1月25日(日)]について(渡辺常任理事)

厚労省難治性疾患克服事業難治性炎症性腸管障害調査研究班の要請により、炎症性腸疾患への社会的理解の拡大および標準的診断・治療法の普及を図るため、当会と共催で「一般臨床医がおこなう炎症性腸疾患の初期診療と標準治療」の研究成果発表会を当会館8階会議室で行った。受講者は42名。当会からは会長と小職が出席し、会長より開会挨拶を行った。その後、講演、班会議研究活動報告、症例提示があり、活発な意見交換が行われた。

#### 6. 第2回全国メディカルコントロール協議会連絡会[1月30日(金)・熊本]について(目黒常任理事)

「メディカルコントロール体制充実のための取り組み」および「円滑な搬送を確保するための消防と医療の連携」について、それぞれ各地域の実情の説明があった。その後、山本保博東京都MC協議会事後検証委員会委員長より、秋葉原多数死傷者発生事象事後検証結果について報告が行われた。

#### 7. 第2回健康スポーツ医学推進委員会ならびに第15回健康スポーツ医制度再研修会[1月31日(土)]について(目黒常任理事)

健康スポーツ医学推進委員会では、日医健康スポーツ医学委員会の開催状況が報告された後、次年度当会主催「道医健康スポーツ医制度再研修会」のテーマについて検討した。また、健康スポーツ医制度再研修会では、北海道ハイテクAC監督の中村宏之氏から「トップアスリートの育成について」、三菱化学メディエンス(株)理事・アンチドーピング担当の植木眞琴氏から「スポーツドクターに必要なアンチドーピングの知識」と題し、講演が行われた。

#### 8. 食育健康サミット2008[1月31日(土)]について

(渡辺常任理事)

「メタボリックシンドロームの予防と日本型食生活の意義～特定健診・特定保健指導を見据えて～」をメインテーマとし、当会をはじめ日医・食育シンポジウム協議会・米穀安定供給確保支援機構の共催

により開催した。冒頭、畑副会長が会長代理として挨拶し、その後、札幌医大内科学第二講座の島本和明教授ほか2講師による講演が行われた。なお、三戸・藤井両常任理事と小職が座長を務めた。

## 9. 日医各委員会報告

### (1) 地域医療対策委員会[1月28日(水)]について (直江常任理事)

会長諮問「地域社会の医療ニーズと医療提供体制の在り方」に関し、医師確保対策を中心に討議した。

### (2) 社保診療報酬検討委員会[1月28日(水)]について (西里常任理事)

冒頭、日医藤原常任理事より中医協の協議経過等について報告がなされた。続いて井原小委員会委員長より、昨年より協議を重ねてきた諮問事項1「平成20年度診療報酬改定の評価」について答申案をまとめたとし、その作成経過について説明がなされた。また、次回診療報酬改定への要望について引き続き協議した。

### (3) 医療IT委員会[1月29日(木)]について (藤原常任理事)

標記委員会の第4回会議が開催され、テレビ会議システムにより参加した。中川常任理事から近況報告がなされた後、議事に入り、中間答申「レセプトオンライン請求義務化」をとりまとめ、本委員会の途中、別室において佐伯委員長から唐澤会長に手交した。その後、引き続き「今後の検討課題」についてディスカッションを行った。

### (4) 生涯教育推進委員会[1月30日(金)]について (渡辺常任理事)

第13回日医「指導医のための教育ワークショップ」の報告、続いて都道府県医師会主催の同ワークショップほか3件の承認事項を承認した。その後、日医生涯教育協力講座セミナー(案)「肺の生活習慣病：COPD<慢性気管支炎・肺気腫>」の実施について、また諮問関連事項では「生涯教育カリキュラムの履修について」および「平成21年度生涯教育制度実施要綱について」の協議を行った。

### (5) 医事法関係検討委員会[1月30日(金)]について (橋本常任理事)

諮問事項の患者をめぐる法的諸問題について、患者の日常診療に絞って議論することとなり、患者の利益の擁護、終末期において医師はどうあるべきかという観点から、医師の被害者意識、応招義務などについてフリートーキングが行われた。

## 10. 外部各委員会報告

### (1) 第4回北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会[1月29日(木)]について (西里常任理事)

平成20年度事業の実施状況の報告を受けた後、平成20年度補正予算案・21年度予算編成、被保険者証の見直しについて協議を行った。20年度事業の中では、資格証明書の運用については、国にお

ける検討結果を踏まえ整理される予定であることなどが確認された。21年度予算編成に関しては、後期高齢者に対する医療費通知の必要性について意見交換が行われた。

### (2) 北海道エキノコックス症対策協議会[2月9日(月)]について (渡辺常任理事)

本協議会会長に佐藤直樹委員(北大病院手術部診療教授)を選出した後、エキノコックス症の現状や媒介動物対策等について協議した。

## 道総医協関連事項(三宅副会長)

### 1. 地域医療専門委員会看護対策小委員会[2月6日(金)]について (北野常任理事)

看護養成校を対象に行った母性看護学実習の実態調査結果についての報告後、今後、予定している助産師業務に係るアンケートの調査票について協議を行った。また、訪問看護を行っている事業所の実態把握の方法について検討した。

## 第23回常任理事会

**日時** 平成21年2月24日(火) 18:04~20:29  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・山本・北野・渡辺・三戸・目黒・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本・前川各常任理事、高木・水元・中村各監事  
(事務局：島影事務局長ほか11名)

## 協議事項

### 第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件 (深澤常任理事)

2月18日の審査委員会で指定「可」とされた新規1名の申請者を指定医師とすることと決定。

### 第2号 生活習慣病検診管理指導協議会委員の推薦に関する件 (深澤常任理事)

役員改選時期にあり今年度末までは長瀬会長を推薦することとし、改選後改めて人選することと決定。

### 第3号 財団事業検討委員会(仮称)委員の推薦に関する件 (深澤常任理事)

健康づくり財団役員枠で宮本副会長を、地域医療振興財団役員枠で畑副会長を推薦することと決定。

### 第4号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件 (目黒常任理事)

認定要件を満たした更新76名の申請を承認。日医へ推薦することと決定。

### 第5号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件 (目黒常任理事)

認定要件を満たした更新8名の申請を承認。日医へ推薦することと決定。

### 第6号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (渡辺常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座18件、道医認定生

涯教育講座30件、合計48件を承認することと決定。

## 第7号 その他

### (1) 3月行事予定に関する件 (事務局)

#### 報告事項

#### 1. 医療安全講演会[2月1日(日)]について

(山本常任理事)

早稲田大学の和田仁孝教授を招き「医療安全調査委員会と医療ADR」をテーマに講演をいただいた。参加人員は91名。詳細は、北海道医報3月号に掲載する。なお、日本医療メディエーター協会北海道支部が2月22日(日)に設立され、北海道においても本格的に活動が開始されるとのことである。

#### 2. 第17回兵庫県医師会臨床警法医会研修会 [2月7日(土)] について(山本常任理事)

医療安全調査委員会設置問題と並行して、監察医制度の全国展開の必要性が問われ始めてきており、今後、解剖医の増員や行政解剖を専門に行う監察医制度の拡充に向けて、自公議員連盟を発足させ活動していくとの報告があった。

#### 3. 第14回日本集団災害医学会総会・学術集会 [2月12日(木)~14日(土)] について(目黒常任理事)

神戸大学大学院医学研究科災害・救急医学分野の石井教授が会長となり「感謝と社会貢献：災害医療対応のコラボレーションの具現化」をメインテーマに開催された。特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップなどが行われ、約1,000名の参加があった。次回は平成22年2月12日(金)~13日(土)千葉市において開催の予定である。

#### 4. 都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会[2月13日(金)]について(北野常任理事)

唐澤会長の挨拶に続き、羽生田常任理事より「潜在看護職員再就業支援モデル事業」の調査結果に基づき「看護職員を巡る最近の動向」について報告があった。その後、厚労省より「看護職員を巡る最近の動向」や「平成21年度看護職員確保対策予算(案)」について説明があり、質疑応答が行われた。当会からは「ビデオ学習」の導入を要望した。

#### 5. 第1回学校心臓検診推進委員会[2月14日(土)]について(三戸常任理事)

平成20年度事業の実施状況について報告の後、次年度に向けた学校心臓検診事業について検討した。

#### 6. 第7回指導医のための教育ワークショップ[2月14日(土)・15日(日)]について(渡辺常任理事)

本年度2回目の第7回指導医のための教育ワークショップを、前回同様北海道との共催により実施した。北大・前沢教授をチーフとした6名の講師により、2月14、15日の二日間「講義、グループ作業、発表討論」という形式で行われ受講者は39名であった。最後に受講者を代表して、最年長者へ修了証が授与され終了した。

#### 7. 日医医療情報システム協議会[2月14日(土)・15日(日)]について(藤原常任理事)

今回のメインテーマは「患者さんに優しい、より質の高い医療を~より良い医療をめざしたコンピュータを上手に使う~」という内容で、昨年に比べより医療者にとって優しい内容であった。特別講演1題、特別企画1題、3つのシンポジウムおよび日医総研からの報告が行われた。昨年より多い492名(講師等関係者含む)の参加があり、非常に活発な意見交換がなされた。

#### 8. 労災四者懇談会[2月16日(月)]について

(目黒常任理事)

今年度は、北海道労災保険指定病院協会が当番幹事となり開催した。同協会・景浦会長、北海道労働局労働基準部・安東労災補償課長、当会・三宅副会長、労災保険情報センター北海道事務所・三浦所長の順で、それぞれ挨拶の後、懇談に移った。北海道労働局より「最近の労災補償の状況」について、労災保険情報センターより「平成20年度業務実施状況」について、それぞれ説明を行い、そのあと意見交換を行った。

#### 9. 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会[2月19日(木)]について(三宅副会長)

医賠償保険の運営に関する経過報告、岐阜県および鳥取県の医事紛争対策と活動報告があった。木下常任理事より、医療安全事故調査委員会設置に関する日本医師会の目標と取り組みの説明があり、医療界の一部には大綱案に反対する意見があるが、現行のままでは医師が長期間拘束され、厳しい捜査が継続されるので、一刻も早い設置について理解をいただきたいとの説明があった。

#### 10. 緊急臨時的医師派遣事業推進協議会・運営委員会 [2月20日(金)] について(宮本副会長)

事業の進捗状況について報告後、事業推進上の課題について説明があり「医師を派遣する必要性の判断基準」等、今後検討していくこととした。また運営委員会では、継続更新の申請のあった2医療機関2診療科、および新たに申請のあった3医療機関の状況について条件を精査の上、派遣を決定した。

#### 11. 平成20年度学校医講習会[2月21日(土)]について(三戸常任理事)

「最近の学校健康教育行政の課題」「学校のアレレギー疾患に対する取り組み」など3題の講演が行われた後「学校における運動器検診をめぐる」をテーマとしたシンポジウムが行われ、様々な立場からその実態と予防、課題などが発表された。

#### 12. 平成20年度母子保健講習会[2月22日(日)]について(三戸常任理事)

「子ども支援日本医師会宣言の実現を目指して-3」をメインテーマに開催された。午前中は、「少子化対策とその政策環境」「メディア漬け」が『子どもの育ち・親子関係』を蝕むの2題の講演が行われた。午後からは「今後の予防接種のあり方」をテーマにシンポジウムが行われ、各シンポジストから、麻しん、ヒブ(Hib)ワクチン、HPVワクチン等に関して

の取り組みなどが発表された。

### 13. 労災・自賠責保険医療等改善対策委員会[2月22日(日)]について(目黒常任理事)

日医労災・自賠責委員会で協議を行っている「労災認定及び後遺症認定に係る適正な運用のあり方」について、各ブロック委員に対し意見を求め協議した。続いて「労災レセプトに係る審査会等に対する都道府県アンケート調査結果」をもとに、北海道の審査の現状およびRICの審査点検事務の現況等について意見交換した。また、自賠責保険診療の問題点についても協議・検討を行った。

### 14. 日医各委員会報告

#### (1) 男女共同参画委員会[1月28日(水)]について(藤井常任理事)

女性医師の勤務環境の現況に関する調査の集計状況について報告があり、その後医師再就業支援事業等について検討を行った。

#### (2) 医療関係者対策委員会[2月13日(金)]について(北野常任理事)

都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会において出された意見・要望を踏まえて「厚生労働大臣宛・看護職員にかかる要望書」を作成した。その後、次年度の委員会日程調整を行った。

#### (3) 病院委員会[2月18日(水)]について(山本常任理事)

「今後の病院における医師・看護師の配置のあり方について」「今後の医師養成のあり方と臨床研修制度について」等を検討した。

#### (4) 母体保護法等に関する検討委員会[2月19日(木)]について(深澤常任理事)

厚生労働省の方針について、総理と厚生労働大臣の発言を受け、新法を検討中であるとの説明があった。また「公費負担妊婦健診事業の委託契約について」「妊産婦の費用負担について」「分娩費緊急全国調査について」等を審議した。

#### (5) 学校保健委員会[2月20日(金)]について(三戸常任理事)

学校保健に関する中央情勢として、高山研文部

科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課専門官から「学校保健法施行規則」や「子どもの健康を守る地域専門家総合連携推進事業」についての説明があった。その後、会長諮問の「学校健康教育の新しい展開」についてフリートーキングが行われた。

### 15. 外部各委員会報告

#### (1) 第2回北海道小児救急医療体制整備推進協議会[2月13日(金)]について(三戸常任理事)

小児救急医療に係る診療体制等の状況調査結果および小児救急地域医師研修事業の実施状況について報告があり、小児救急電話相談事業の今後の実施体制、小児二次救急医療体制の整備について検討が行われた。

#### (2) 広域特別支援連携協議会・発達障害者支援体制整備検討委員会第2回合同会議[2月16日(月)]について(三戸常任理事)

障害者自立支援法の施行に伴う「北海道発達障害者支援体制整備検討委員会」と「北海道子ども発達支援推進協議会」の統合、第2期障がい福祉計画策定素案に対する道民への意見募集などについて協議した。

#### (3) ドクターヘリ運航調整委員会事後検証部会[2月17日(火)]について(目黒常任理事)

2008年度ドクターヘリ運航実績報告書の作成に向け最終的な協議を行った。なお、本報告書は出来上がり次第、郡市医師会等関係機関に送付される予定である。

#### (4) 北海道医療審議会第3回医療法人部会[2月17日(火)]について(畑副会長)

設立認可申請は、社会医療法人2件、病院1件、医科診療所12件。解散認可申請は、病院1件、医科診療所7件全て『可』とされた。

### 道総医協関連事項(三宅副会長)

#### 1. 地域医療専門委員会[2月16日(月)]について(宮本副会長)

社会医療法人の認定要件に関わる北海道医療計画における「へき地医療体制」の一部変更および在宅医療の推進について、協議が行われた。

## 北海道医報ファイルについて

北海道医報本誌を1年分綴ることができるファイルを用意しております。

ご希望の方には無償にてお送りいたしますので、下記まで送付先ならびに希望数をご連絡ください。

記

申込先：北海道医師会事業第一課

〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目

TEL 011-231-7661 FAX 011-252-3233

E-mail ihou@m.douj.jp

